



平和の尊さを次世代へつなぐ



企画運営課 ☎0422-29-9032



東京空襲資料展

東京では、昭和20(1945)年3月9日夜から10日明け方にかけての東京大空襲によって、亡くなった方は約10万人、被災者は100万人を超えたといわれています。戦争の悲惨さを伝え、平和への願いを引き継いでいくために、空襲の惨状を伝える資料展を開催します。三鷹市と東京都が所蔵する当時の貴重な実物資料を展示します。

📅3月3日(月)～14日(金)の平日午前8時30分～午後5時
📍市役所1階市民ホール 📌期間中会場へ



東京空襲により焼けた花瓶



空襲で焦げた英語の参考書



故・長谷緑也さんが描いた中島飛行機本工場への爆撃の様子

黙とうにご協力ください

東京都は東京空襲のあった3月10日を「東京都平和の日」と定めています。戦災で亡くなった方々の追悼と世界の恒久平和を祈り、3月10日(月)午後2時から市の防災無線を合図に1分間の黙とうを行います。皆様のご協力をお願いします。



戦争体験談・関連資料の記録・保存事業にご協力ください

市ではご本人が語る戦争体験談の映像や、関連資料をアーカイブ化する事業を進めており、「みとかデジタル平和資料館」や「みとか平和資料コーナー」で公開しています。詳しくは同課へお問い合わせください。

戦争体験の声を聞かせてください

戦時中の暮らし、集団疎開、戦地の様子など、ご自身の体験を話して下さる方を募集しています。

戦争関連資料を探しています

戦時中の生活をしのぶ手紙や写真、軍隊資料などをご提供ください。写真撮影後の返却も可能です。

市ホームページ特設サイト

みとかデジタル平和資料館



戦争体験談の映像や戦争関連資料、市の平和事業などを紹介しています。



千人針(出征兵の弾よけのお守り)



陸軍大臣・東條英機から送られた感謝状



鉄瓶

みとか平和資料コーナー

(市役所3階・三鷹駅前市政窓口)



地球市民講座

戦禍の記憶をつないでいく



太平洋戦争の体験者への聞き取りを重ね、ドキュメンタリーを制作し続けてきた講師が、戦後80年そして昭和100年を迎える今年、薄れゆく「記憶」をどう次世代につないでいけるのかを伝えます。

📅3月6日(木)午後6時30分～8時30分(6時15分開場) 📍①三鷹ネットワーク大学=40人、②オンライン会議アプリ「Zoom」=90人 📌NHKエンタープライズ シニア・プロデューサーの大島隆之さん(写真) 📌①当日会場へ、②3月3日(月)までに市HPへ(いずれも先着制)



フィールドワーク講座

三鷹市内の戦跡を訪ねる



戦時中の三鷹は、「飛行機工場の町」と呼ばれるほどの軍需工業地帯でした。国際基督教大学構内に残る戦争遺跡を見学し、平和について考えます。

📅3月29日(土)午後1時30分～4時30分 📍中学生以上の方25人 📌大学礼拝堂前ロータリー集合 📌法政大学中学高等学校教諭の牛田守彦さん、国際基督教大学高等学校教諭の高柳昌久さん 📌3月10日(月)(必着)までに往復はがきで参加者全員の必要事項(6面参照)を「〒181-8555企画運営課」、または申し込みフォーム(QRコード)へ(申込多数の場合は市民を優先して抽選。結果は3月21日(金)までに通知)



ウクライナの平和を願い



チャリティーコンサート

主催 (-社)ジョイフル・ウィングス ☎090-3988-3146
📧contact-info@joyfulwings.or.jp

ウクライナの民族楽器・バンドウーラ奏者のカテリーナさん(写真)と、みとかジュニア・オーケストラ(MJO)による歌と演奏の特別コンサートです。収益金は、ウクライナ避難者の人道支援のために寄付されます。

📅2月19日(水)午後7時～9時(6時開場) 📍625人 📌芸術文化センター風のホール 📌¥2,000円(当日券2,500円) 📌2月18日(火)までに申し込みフォーム(QRコード)へ(先着制。空きがあれば当日入場も可)

